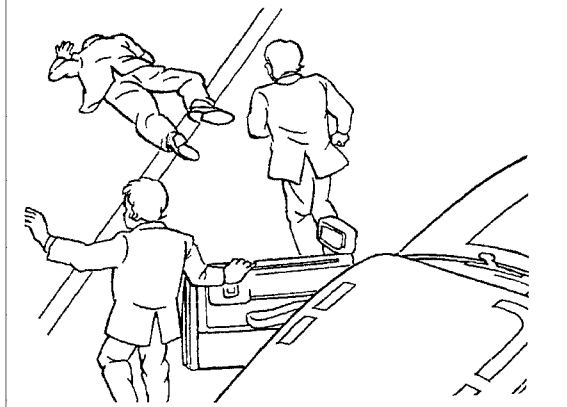


あなたのためです 応急手当を!!

交通事故のとき(その1)

事故発生



交通事故は、小さな車でも数十馬力もあり、その強大なパワーを制御ミスした時に起こる、日常的でありながらもっとも恐ろしい災害です。細心の注意をしても、いつ巻きこまれるか判りません。続発事故がすごいスピードで迫っていたりします。あわてずに対処できるよう、日ごろ、頭の中でシュミレーションしておきましょう。

続発事故の防止

夜間や濃霧など視界が悪い時、後続車への注意を怠ると、つっこんで来た車によって、事故はさらに増幅され、大事故の原因にもなります。

必ず停止表示板を置き、
後続車に注意をうながす



救急車の手配・警察への通報

続発事故の危険が回避できしだい、ただちに救急車の手配と警察へ通報します。通りかかった人にも応援をよびかけます。

交通事故です



負傷者の安全確保

けが人は、その場を動かさずに、応急手当をするのが原則です。しかし、後続車に再度はねられる危険がある場合、安全な場所へ移動させます。けが人が、頸骨や背骨に損傷がある場合、現場から動かさないのがベスト。

ケガ人は、原則として
その場から動かさない

危険な時は安全な場所
へ注意して移動



負傷者の状態を調べる

けが人の意識、呼吸、脈、出血、骨折の有無、状態をしらべます。

それぞれの状態に応じて、意識、呼吸、脈、出血、骨折の応急手当の手順をします。救急車が来るまでの救命処置です。



次回では応急処置
の手順をお知らせ
します。